



第15回 ママ友会議

保育所、勤務、研修 など 交流

『主務教諭』育休中 選考非該当に怒り

第15回ママ友会議を12月23日に行いました。年に3回の定例で行ってきたママ友会議も5年を経て、たくさんの方が参加し、交流できる場となりました。

最初に、権限移譲にかかる教職員の人事給与と制度導入の動きについて、その内容を学習しました。久家書記長から「主務教諭」等設置の問題点、特に、育児休業中は選考の非該当となることの説明がありました(復職後選考)。

参加していた育休中のママさんは、「20代は仕事をし、30代は出産・子育てをしようと思っていたのに、こんな制度になったら、ゆとり育休も取れない」と、不安の声。同様に、30代の育休中のママさんも、「二人目を欲しいと思っていたのに、育休中は選考を受けられないと、出産を考

えてしまう」と怒り心頭です。

ママさんたちの声をぶつけていくために、反対のメッセージを書き、力を合わせて阻止することを確認しました。その後、「風船おもちや」をみんなで作りました。赤ちゃんも、風船の動きに夢中でした。

最後に、交流をしました。「四月復帰に向けて、保育所が決まるのか不安」「短時間勤務か、部分休業を取らないと、保育所の送迎が難しい」「復帰と10年研修が重なるので大変」など、心配や不安の声に、皆が共感しながら話をすることができました。ママさんたちにとっては、ママ友会議が重要な情報交換や交流の場となっています。これからもっと仲間を増やし、発展させていきましよう。次回は、3月21日(祝)です。

府退職手当引き下げ強行

市労組連 確定闘争継続

大阪府当局は12月11日、「国家公務員の退職手当法については国会で可決・成立した」として引き下げを強行(18年1月1日実施)しました。

大阪府当局は12月4日の交渉で、市労組連の十分な協議が保障されていないとの批判に対し、「短期間での交渉では、組合の合意は得られなかった」と表明し、1月1日実施は先送りすると回答しました。越年のたたかいとなりました。

2度目の住民投票は「総合区 勝手に合区するな」

吉村洋文・大阪市長は12月11日産経新聞の単独インタビューに答え、「大阪都構想」住民投票(9、10月想定)前に総合区導入の「基本議決」を行う狙いを表明しました。

読売新聞には3月末には「総合区」の成案をまとめた旨と答えており、住民投票前に、特別区か総合区の二者択一を迫る枠組みを作ろうとしています。

「都構想が住民投票で反対多数となっても総合区が実現されないのでは、という不安があったとはいえない。市議会ですら先行して基本議決を行い、住民投票

で反対多数となれば、総合区に移行するための最終議決を行う『2段階方式』を考えている。」

今の行政区のまま権限を強め、住民施策、街づくりの充実を目指す、市民の選択権を奪う「基本議決」「2段階方式」は許せません。



特別区設置反対を求める市民会議の署名

「都構想が住民投票で反対多数となっても総合区が実現されないのでは、という不安があったとはいえない。市議会ですら先行して基本議決を行い、住民投票で反対多数となれば、総合区に移行するための最終議決を行う『2段階方式』を考えている。」

読売新聞には3月末には「総合区」の成案をまとめた旨と答えており、住民投票前に、特別区か総合区の二者択一を迫る枠組みを作ろうとしています。

「都構想が住民投票で反対多数となれば、総合区に移行するための最終議決を行う『2段階方式』は許せません。」

今の行政区のまま権限を強め、住民施策、街づくりの充実を目指す、市民の選択権を奪う「基本議決」「2段階方式」は許せません。

市労組連は12月7日の「秋季年末闘争勝利決起集会」で退職手当引き下げ撤回、不当な賃金カット中止と合わせた職場からの取り組みを強める意思統一を行いました。

大阪府は、9年連続の賃金カット、最高号給の大幅カット、保育士、幼稚園教諭の独自給料表による賃金引き下げ、公民比較の見直しによる給料の引き下げを強行してきました。

また、教員は権限移譲により本給が地域手当引き上げ分の約5割引き下げられ退職手当が減額となります。実損回復措置を市労組連は引き続き要求しています。

大阪府教育委員会が12月6日開かれ、生野区学校統廃合に関する陳情が審査されました。大阪府教他107団体4011名連署の「小学校8校・中学校1校を廃校にするなど学校統廃合計画反対、30人以下学級でゆきとどいた教育の実現を求める陳情書」は「継続して審査」の扱いとなりました。

生野区の住民12名の「生野区西部地域学校再編整備計画の

実施において、児童生徒により良い教育環境の実現を求める陳情書」が維新、公明の賛成で採択されました。

井上議員(共産)の「小学校区の合意は得られたのか」の質問に市教委は、「小学校区ごとの基本合意は得られておりません」と答えました。

生野区はすべての小学校区で合意を得られなかったため、進め方を一方的に変更し、中学校区での

大阪府教育委員会が12月6日開かれ、生野区学校統廃合に関する陳情が審査されました。大阪府教他107団体4011名連署の「小学校8校・中学校1校を廃校にするなど学校統廃合計画反対、30人以下学級でゆきとどいた教育の実現を求める陳情書」は「継続して審査」の扱いとなりました。

生野区の住民12名の「生野区西部地域学校再編整備計画の

実施において、児童生徒により良い教育環境の実現を求める陳情書」が維新、公明の賛成で採択されました。

井上議員(共産)の「小学校区の合意は得られたのか」の質問に市教委は、「小学校区ごとの基本合意は得られておりません」と答えました。

生野区はすべての小学校区で合意を得られなかったため、進め方を一方的に変更し、中学校区での

「2段階方式」で合区を強行し、総合区に比べれば権限が強い特別区の「選択」を押し付けようとする「カムフラージュ」を強めます。

ユニ「作戦」(吉村市長の言は狡猾です。一人の指揮官に権限と財源を集中し、カジノ誘致など大規模開発やりたい放題の体制づくり)「都構想」反対の取り組みを強めます。

地域住民のつながりの中で子どもたちが守られ、育まれ、すべての世代、高齢者が生きがいをもって暮らし活動する、避難所であり地域コミュニティの核としての小学校の役割を尊重しない姿勢を示しました。

地域住民のつながりの中で子どもたちが守られ、育まれ、すべての世代、高齢者が生きがいをもって暮らし活動する、避難所であり地域コミュニティの核としての小学校の役割を尊重しない姿勢を示しました。

地域住民のつながりの中で子どもたちが守られ、育まれ、すべての世代、高齢者が生きがいをもって暮らし活動する、避難所であり地域コミュニティの核としての小学校の役割を尊重しない姿勢を示しました。

たんぽぽ だより 1月

2017年が終わり新しい年になりました。2017年も様々な活動をしてきました。そして、今年もたくさんの方の活動を予定しています。

また、2月17日(土)18日(日)には箕面観光ホテルで青年フェスタ「学びと笑いのハッピーフェスタ」があります。年に一度のフェスタです。いろいろな分科会を予定しています。ホテルの温泉で日頃の疲れを取りながらわいわい学習しましょう。

そして、3月25日(日)〜27日(火)には「ピールで青年フェスタ」を企画しています。沖縄について、平和について、見学しながらみんなで楽しく学びましょう。2018年もたくさんの人と繋がりたい、頑張りましょう!

2017年が終わり新しい年になりました。2017年も様々な活動をしてきました。そして、今年もたくさんの方の活動を予定しています。

また、2月17日(土)18日(日)には箕面観光ホテルで青年フェスタ「学びと笑いのハッピーフェスタ」があります。年に一度のフェスタです。いろいろな分科会を予定しています。ホテルの温泉で日頃の疲れを取りながらわいわい学習しましょう。

そして、3月25日(日)〜27日(火)には「ピールで青年フェスタ」を企画しています。沖縄について、平和について、見学しながらみんなで楽しく学びましょう。2018年もたくさんの人と繋がりたい、頑張りましょう!

大阪市をよくする会
地域・団体代表者会議
1月18日(木) 18:30
グリーン会館：南森町

市対連・市労組連
ブラック自治体告発
要求持ち寄り集会
1月26日(金) 18:30
民医連